

大会規則及び選手注意事項

1. 競技規則

本大会は、2022年度（財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
ただし、TR39.8.3については適用しない。

2. 競技者の招集

- (1) 2・3年生の部について事前に欠場が明らかな場合、朝の受付時にエントリーシートの種目欄に赤線を引き提出すること。受付後にケガ等で欠場をすることになった場合、TICで欠場届を受け取り、記入して招集所へ提出する。なお、朝の学校受付時に1年生の参加人数を報告すること。
- (2) トラック競技の招集所は100mスタート地点付近の器具庫の外（競技場外）に設ける。フィールド競技は各種目のピットに集合すること。1年生は学校受付時に配布される個人カードを持参すること。
- (3) 招集は出場できる服装で集合し、密集を避け係員の指示に従うこと。
招集時間の基本は次の通りとする。組ごとに招集時間を設定するので、タイムテーブル招集時間を確認すること。招集開始時間よりも早く来ることを禁止する。

		招集開始	招集完了
トラック	予選	招集完了時刻の5分前	タイムテーブル参照
	準決勝		
	決勝		
フィールド	投擲	競技開始 25分前	
	跳躍	競技開始 35分前	

※棒高跳は競技開始60分前を招集完了とし、競技場内での練習時間をとる。

- (4) 招集所でトラック競技のみ腰ナンバー標識（レーン）を受け取る。各校で準備する必要はない。
- (5) フィールド競技から次の競技に移動する際には、必ず競技役員に伝えること。

3. 走高跳・棒高跳

- (1) バーの上げ方は最後の1人になるまでは、次の規定による。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
走高跳	2・3年男子	1.10/1.40	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmきざみ
	2・3年女子	1.00/1.30	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	以降3cmきざみ
棒高跳	2・3年男子	1.60/1.80	1.60	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	以降10cmきざみ		
	2・3年女子		1.50	以降10cmきざみ							

4. 走幅跳・砲丸投

- (1) 走幅跳・砲丸投の試技は3回とする。ただし、参加人数の関係で試技回数を変更する場合がある。
- (2) 2・3年砲丸投は本競技場で行う。1年走幅跳は補助競技場、2・3年走幅跳は本競技場で行う。

5. トラック競技

- (1) ゴール後は、そのまま大きく左回りで競技場内の走路とスタンドの間を歩き、所定のゲートより退場すること。この時、同じ組の選手たちと1～2mの距離を空けて縦に並んで歩き、会話や接触等がないようにすること。ただし、ゴール後にフィールド種目にすぐに出場する選手はメインスタンド前を通過してもよい。
- (2) 不正スタートは1回で失格とする。ただし、TR39.8.3については適用しない。
- (3) 1年生女子800mについては、オープンレーンで行う。

(4) 1年男女の100mはスターティングブロックを使用しない。

6. アスリートビブス

- (1) 小中体連指定のアスリートビブスを各自で用意すること。
- (2) アスリートビブスを必ずユニフォームの胸・背両面に着けること。跳躍種目はどちらか一方でも良い。
- (3) 申込ナンバーからの変更は認めない。

7. 競技用靴

日本陸上競技連盟競技規則TR5に基づいて大会に参加すること。

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とし、先端が鋭利なものは使用できない。
- (2) 厚底シューズに関する規定は以下のとおりである。

種目	最大の厚さ	要件・備考
トラック種目 (ハードル種目を含み、 800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じにする。

- (3) フィールド競技シューズ規則 (TR5.5) については適用除外措置とする。そのため、本大会ではフィールド競技種目の厚底計測は行わない。

詳しくは日本陸連HPの「フィールド競技シューズ規則 (TR5.5) 適用除外に関するQ&A」を見ること。

8. ウォーミングアップ

- (1) ウォームアップエリアとして補助競技場を使用できる。
- (2) 選手と指導者のみ入場することが可能になる。
- (3) 雨天走路は走幅跳の待機場所となるため、当該種目の選手以外の立ち入りを禁止する。
- (4) **バックスタンド下の走路はチームベンチエリアとなるため、ウォーミングアップでの使用を禁止する。**
- (5) リレーは除き、集団でのアップは禁止とし、個別に距離を保つこと。特に補助競技場での走高跳、砲丸投ピットの使用は、役員のいない中では禁止とする。棒高跳については、補助競技場のマットの使用は禁止とする

9. その他

- (1) 選手は原則としてマスクを着用する。競技時は外してもよいが、待機時は着用すること。
- (2) 選手の競技場入口は100mスタート地点付近のゲートのみとする。
- (3) スタンドに集団でいることや声を出しての応援は禁止する。
- (4) **ベンチの密を防ぐため、選手の観戦はバックスタンド・サイドスタンドのみとする。選手以外の家族、監督コーチ、役員、報道関係者の観戦については、「コロナウィルス感染防止対策マニュアル」の注意事項に必ず従うこと。**
- (5) チームのベンチを川沿いベンチ付近・あずまや付近・メインスタンド下に設置することは禁止する。
- (6) 横断幕は各校のベンチに設置すること。
- (7) ゴミの処理については各校持ち帰りを徹底し、競技場や公園内に残していかないこと
- (8) 物品の管理について、各自の責任において紛失・盗難等のないように注意すること。